

# 小菅 優

—ソナタ・シリーズ第5回—  
(最終回)

## 『黄昏』

ピアノ・リサイタル



©Takehiro Goto

## YU KOSUGE PIANO RECITAL

世界的ピアニストが探る  
深遠なるソナタの“光”

### PROGRAM

モーツァルト：ピアノ・ソナタ 第18番 ニ長調 K.576

Mozart: Piano Sonata No.18 in D major, K.576

ウェーバー：ピアノ・ソナタ 第4番 ホ短調 op.70/J.287

Weber: Piano Sonata No.4 in E minor, op.70/J.287

シューベルト：ピアノ・ソナタ 第21番 変ロ長調 D960 (遺作)

Schubert: Piano Sonata No.21 in B flat major, D960

2026.

3/21 土

2:00PM開演 (1:30PM開場)  
A ¥4,000 B ¥3,000 (税込/全席指定)

兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール  
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22阪急西宮北口駅南改札ロスグ/JR西宮駅より徒歩15分 (阪急バス7分)

一般発売

11/16

目

芸術文化センター  
チケットオフィス

インターネット予約

0798-68-0255

(10:00AM - 5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日)

<https://www.gcenter-hyogo.jp>

※窓口での販売(残席がある場合)は11/18(火)より

芸術文化センター会員  
先行予約受付開始

11/15 土

※未就学児童はご入場いただけません。  
※やむを得ない事情により、曲目等が変更となる  
場合があります。あらかじめご了承ください。



兵庫県立  
芸術文化センター

文化力  
POWER OF CULTURE

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

世界的に活躍するピアニスト小菅優さんが、「ソナタというテーマに基づき、様々な時代を歩む作曲家の幅広い世界に挑戦」するシリーズ。これまでに開催してきた第1回～第4回では、いずれも満席の聴衆を圧倒する演奏を聴かせてくれました。いよいよ最終回となる今回、旅の終わりとして、3つのソナタが選曲されました。

プログラムを通し、「巨匠たちの晩年のこの上ない深遠な世界」に挑みます。

世界各地でのリサイタルや、名門オーケストラとの共演を繰り返し、その才能で多くの人々を魅了してきた小菅さん。今回奏でるシューベルトのソナタを「大きなゴールの一つ」とし、作品を旅にたとえて、「これほどまでに人間の心の奥深くまで探る旅は他にない」と語ります。闇、悲しみ、孤独——ソナタの深淵なる世界の先にきっと在るのであろう、まばゆいばかりの光を放つ「美しいもの」とは。他に類をみない新たな音楽世界が、あなたを待ち受けていることでしょう。ソナタの極致へ至る旅を、どうぞ一緒に。

## ソナタ・シリーズ第5回「黄昏」に寄せて 小菅 優

ついにソナタ・シリーズのゴール地点に達した。演奏会一つ一つが大きな課題だったが、最終回では更に大きな目標が私を待っている。

晩年に達すると、人は何を考え、感じるのだろうか。今の私には想像しかできないが、最終回で取り上げる究極の3つのソナタには次のようなことが思い浮かぶ。どの作品も死神のような怖い存在と同時に、葛藤や苦悩を耐え忍んだ境地を超えた、寛大な優しさを。それぞれの凝縮された内容の中には、「まだ」というか、最後だからこそ訴えようとする、内なる炎が燃えている。

見事な対位法を用い、快活さを装いながらも、どこか寂しいモーツァルトの最後のソナタ。苦悩と恐怖、和解と優しさを、ピアノの持ち味を使って華やかに表すウェーバーの最後のソナタ。そして青春の喜びや懐かしさ、苦境と哀しみの間を彷徨い、人生の全てを語る、儂いシューベルトの最後のソナタ。

抒情。この上ない完成度。そして哀しみを垣間見せながらも常に生きることへの愛を感じさせる深い感情。作曲家たちの最後の静かな訴えを、皆さまに聴いていただきたい。

## 小菅 優 (ピアノ) YU KOSUGE, PIANO

9歳より演奏活動を開始し、2005年カーネギーホールで、翌06年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤、ノリントン、オラモ、ノットなどの指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、BBC響、NDR北ドイツ放送フィル、サンクトペテルブルク響、フィンランド放送響、フランス放送響、スイス・ロマン管等と共演。ザルツブルク音楽祭ではボゴレリッチの代役としてヘレヴェッヘ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演。10年から15年まで、東京、大阪でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会(全8回)を行った。さらに現在はソロだけでなく室内楽や歌曲伴奏を含む、ベートーヴェンのすべてのピアノ付き作品を徐々に取り上げる企画「ベートーヴェン詣」に取り組んでいる。

録音は、ソニーから発売している・ライアン・ウィグルスワース指揮 BBC 交響楽団による『藤倉大: ピアノ協奏曲〈インパルス〉& WHIM / ラヴェル: ピアノ協奏曲ト長調』(第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞)をはじめ数多い。

第13回新日鉄音楽賞、第17回出光音楽賞などを受賞。14年に第64回芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞、2017年第48回サントリー音楽賞受賞。2017年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催し好評を博した。2023年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト“ソナタ・シリーズ”を始動。

瑞々しく、美しい音が導く“旅の終わり”  
いま辿り着くソナタの深奥



©Takehiro Goto



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

兵庫県立芸術文化センター  
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員へのご登録はこちら



### 便利なアクセス!!

大阪梅田からも神戸三宮からも  
ホールまで15分  
(阪急電車特急乗車の場合)

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)

◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

